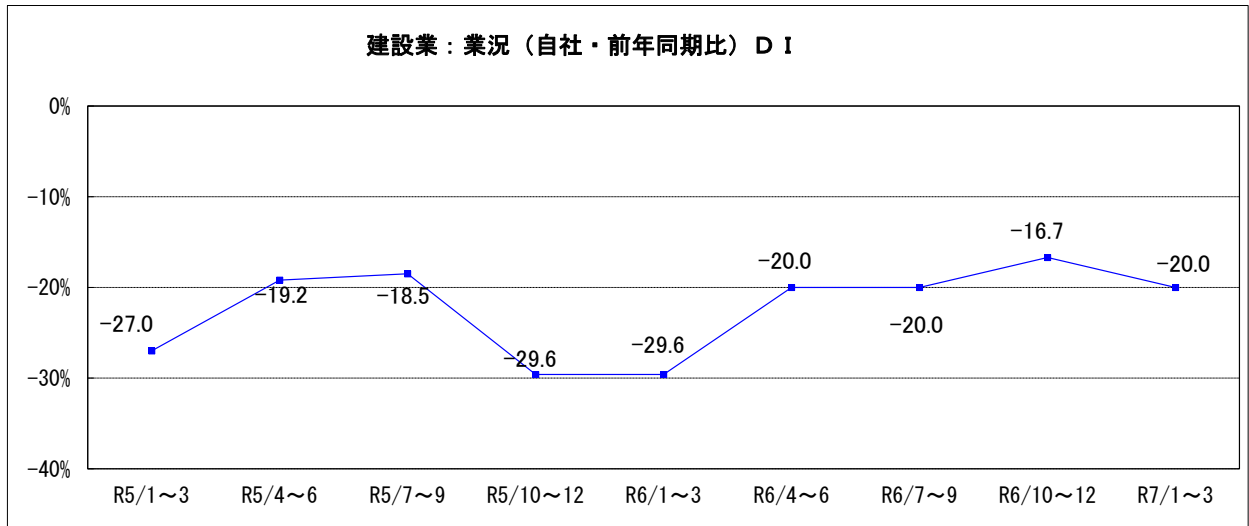


3. 建設業の動向

(1) 業況概要（前年同期比）

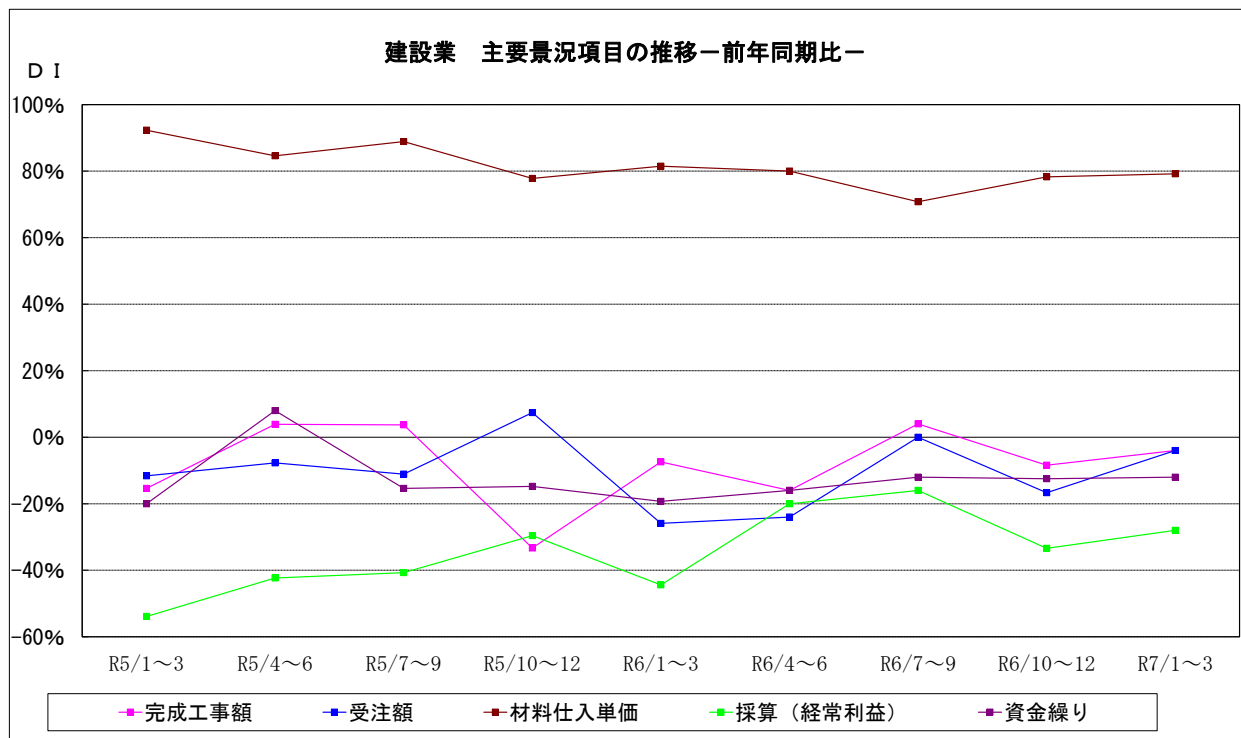
今期の業況DI値は-20.0。前期の-16.7から3.3ポイント低下した。

来期の見通しは-12.0の予想である。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・％）

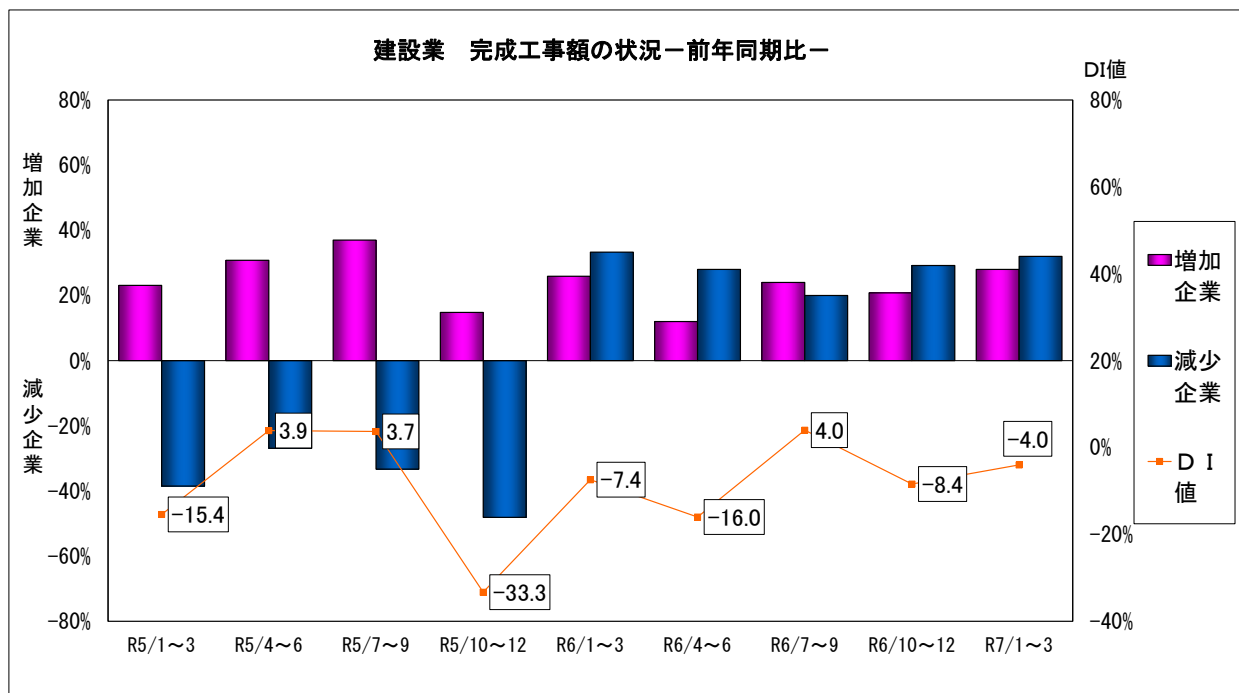
	前々期 (R6年4月～6月)	前期(A) (R6年7月～9月)	今期(B) (R7年1月～3月)	今期と前期の差 (B)-(A)	来期見通し
完成工事額	-16.0	4.0	-8.4	-12.4	8.4
受注額	-24.0	0.0	-16.7	-16.7	-20.8
材料仕入単価	80.0	70.8	78.3	7.5	73.9
採算（経常利益）	-20.0	-16.0	-33.4	-17.4	-12.5
資金繰り	-16.0	-12.0	-12.5	-0.5	-8.3



(2) 主要項目の概況

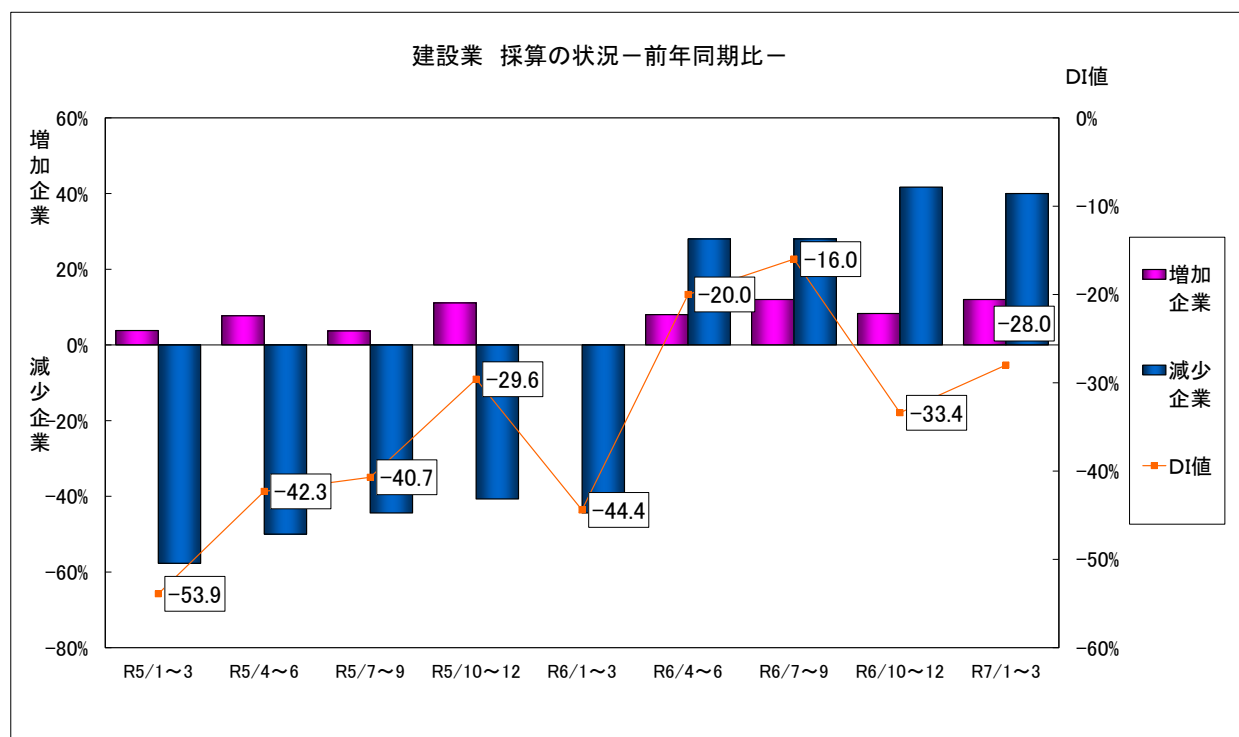
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-4.0。前期-8.4から4.0ポイント上昇した。
来季の見通しは-20.0の予想である。



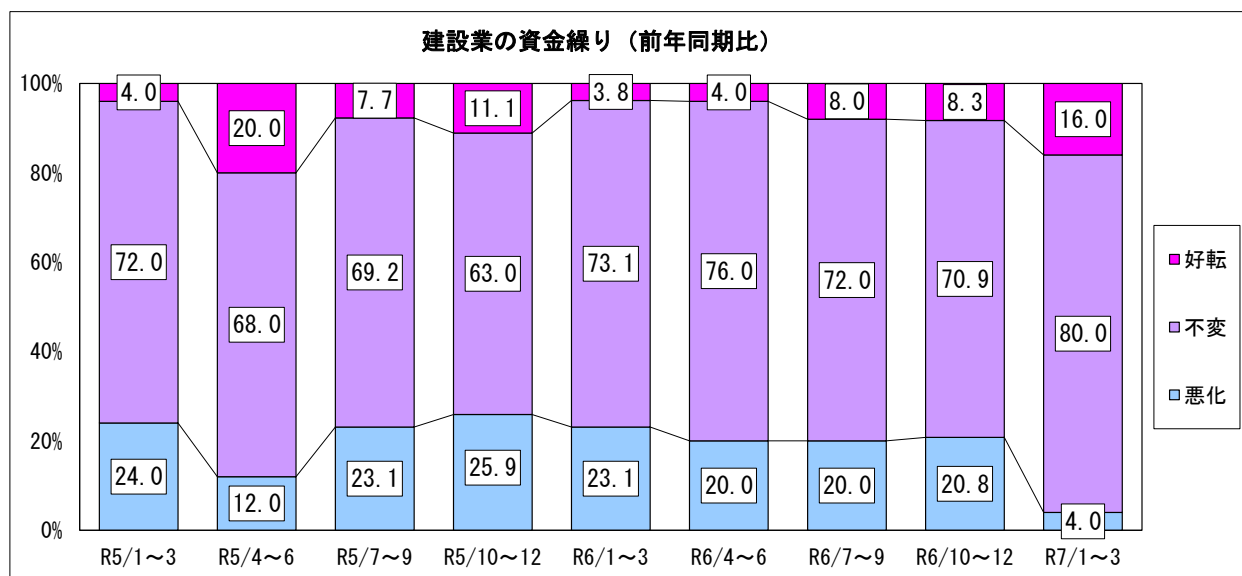
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-28.0。前期の-33.4から5.4ポイント上昇した。
来季の見通しは-32.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は-12.0。前期の-12.5から0.5ポイント上昇した。
来季の見通しは-20.0の予想である。

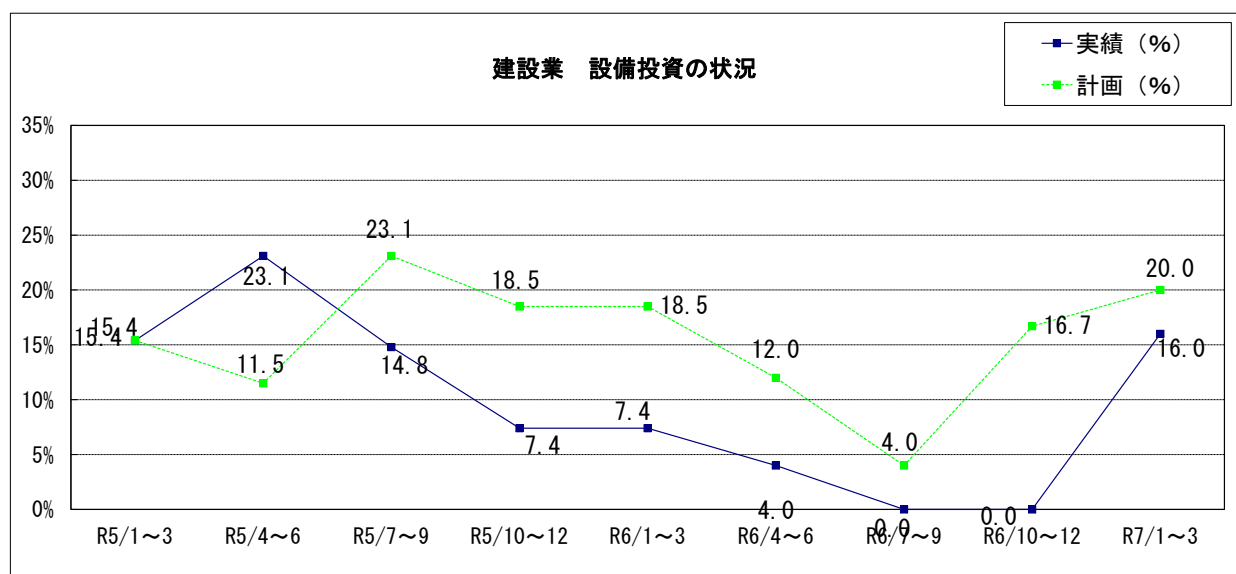


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今 期 実 施	4 16.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	21 84.0
来 期 計 画	5 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	20 80.0

今期設備投資を実施した企業は4社(16.0%)前期(令和6年10月～12月)の実施企業0社(0.0%)
来期は5社(20.0%)が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期60.9%→今期62.5%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期13.0%→今期37.5%)
- ・「従業員の確保難」 (前期30.4%→今期33.3%) となっている。

